

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

健康診査事業 2億1,873万円 (担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診などにより健康管理に対する支援を行います。

財源	国の負担額	14万円
	県の負担額	154万円
	利用者等の負担額	4,678万円
	市の負担額	1億7,027万円

風しん予防対策事業 1,004万円 (担当：健康推進課健康推進係)

風しんが急増した状況を踏まえ、市民の安全安心な暮らしを確保するため、風しんの抗体検査と予防接種を無料で実施する予防対策事業を実施し、感染の拡大防止を図ります。

財源	国の負担額	296万円
	市の負担額	708万円

障害者地域生活支援事業 1億1,595万円 (担当：社会福祉課障害福祉係)

訪問入浴サービス事業

自宅での入浴が困難な身体障害者（児）の方に、訪問による入浴などの支援を行います。

相談支援事業

障害者の方やその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障害者の方の社会参加を推進するため、自動車免許の取得費や自動車の改造費を助成します。

移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者（児）の方に、外出する際の支援を行います。

成年後見制度利用支援事業

判断能力が十分でない障害者の方が、安心して日常生活を送ることができるよう、適切な援護者を選び、本人を保護するための支援を行います。

コミュニケーション支援事業

言語による意思の疎通を図ることに支障がある障害者の方に、手話通訳者や要約筆記者を派遣するなどの支援を行います。

日中一時支援事業

障害者（児）の方に日中の活動の場を提供するとともに、家族の就労支援、介護の負担軽減を図るため、一時的な見守りの支援を行います。

日常生活用具給付事業

障害者（児）の方の日常生活を支援するために、ストーマ装具や杖などの日常生活用具を給付します。

社会復帰施設運営事業

在宅の障害者の方の社会復帰を促進するため、通所による作業指導や生活訓練などの支援を行います。



日中一時支援事業の様子

財源	国の負担額	2,466万円	県の負担額	1,233万円	市の負担額	7,896万円
----	-------	---------	-------	---------	-------	---------

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

築館陸上競技場改修事業

2億1,687万円

(担当: 社会教育課スポーツ推進係)

令和2年度末で、現在の3種公認期間が終了することから、令和3年度からの新たな3種公認更新に向け、陸上競技場の改修を行います。



築館陸上競技場での大会の様子

財源 市の負担額 2億1,687万円
(うち市債[借入金]1億9,370万円)

(2) 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します

おとなの居場所づくり事業

60万円

(担当: 社会福祉課社会福祉係)

住み慣れた地域において、健康でいきいきとした生活を送るために、市民などが主体となり、高齢者を中心とした様々な世代の市民が気軽に集まり交流することができる身近なスペースを活用した居場所づくりを、モデル事業として市内1箇所を実施します。

介護福祉士就職支援金助成事業 80万円

(担当: 介護福祉課介護保険係)

安定した介護サービスの提供、介護人材の確保と定着を図ることを目的に、介護福祉士の資格を取得し、市内の介護サービス事業所に新たに就職する方に対して、就職支援金を助成します。

助成金 40万円(1人1回限り)

介護人材確保・定着事業 348万円

(担当: 介護福祉課介護保険係)

介護人材確保、介護職員の資質向上と介護サービスの安定供給に資することを目的に、市内の介護サービス事業所に従事している方が受講する介護職員初任者研修、または実務者研修の受講料を助成します。また、介護職員のスキルアップを図るために、研修会を実施します。

初任者研修受講料 限度額10万円/件
実務者研修受講料 限度額20万円/件

(3) 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります

産婦人科小児科医院開設助成事業



債務負担行為

(担当: 健康推進課健康推進係)

市民が地域で安心して子どもを産み育てる環境を整備するため、市内に産婦人科及び小児科医療施設を開設しようとする医師などに対し、開設に要する経費の2分の1の範囲内で上限1億円を助成します。

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

環境保全型農業推進事業

27万円

(担当：農業政策課農政企画係)

栗原の地域性を生かした有機農業の推進により、安全・安心、良食味の有機農産物の生産と農村地域の活性化を図るため、「(仮称) 栗原市有機農業推進計画」を策定します。

地域農業を担う営農支援事業

200万円

(担当：農業政策課農業政策推進係)

水稻栽培用の機械を、共同(3戸以上)で購入し、利用する場合に助成します。

【対象機械】

トラクター、田植機、コンバイン、乾燥機などで30万円以上の機械

【補助率】

購入経費(税抜き)の10分2以内で、上限額50万円

栗原の美しい森林再生事業

4,202万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

適切な管理が行われていなかった私有林(人工林)の森林管理を推進し、水源の保全、災害の防止、二酸化炭素の吸収など森林の持つ公益的機能の維持を図ります。



森林間伐の様子

全国和牛能力共進会对策事業

50万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)



5年に一度開催される全国和牛能力共進会に、栗原市から多く出品できるように研修会への参加助成をします。



宮城大会受賞牛

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

 = 新規事業  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

県営ほ場整備事業等負担金 7,324万円
(担当：農村整備課計画調整係)

地域で描いた将来の営農構想を実現するため、担い手の育成を図るとともに、農地の集積を促進し、ほ場の大区画化、用排水施設、農道などの整備を行います。

ほ場整備事業 12地区

- 《若柳》 川北2期地区
伊豆沼2工区地区
大目地区
上畑岡地区
- 《若柳・志波姫》 沼田・八木地区
- 《栗駒・鶯沢》 稲屋敷・袋地区
- 《高清水》 東田地区
- 《瀬峰》 迫第四地区
藤田地区
瀬峰地区
- 《金成》 津久毛地区
- 《志波姫》 上沼地区

財源 市の負担額 7,324万円
(うち市債[借入金] 6,530万円)

林道整備事業 3,309万円
(担当：農村整備課農地整備係)

森林整備の促進を図るため林道を開設するとともに、既設林道の路面舗装整備や狭窄箇所改修整備を行い、安全な通行を確保します。

林道開設事業 1路線

《花山》 権現堂線

林道整備事業 1路線

《栗駒・花山》 花山～文字線

森林施設維持管理事業

《ふるさと緑の道》

財源 県の負担額 1,120万円
市の負担額 2,189万円
(うち市債[借入金] 1,850万円)



整備が進む林道権現堂線(花山)

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

2,000万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりを支援するため、栗原市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛を、みやぎ総合家畜市場から導入した場合に補助金を交付します。



また、父牛が栗原産の宮城県基幹種雄牛の場合は、補助金を増額し市内保留確保を強化します。



しげふくひさ
宮城県基幹種雄牛「茂福久」号

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

 = 新規事業  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

多面的機能支払交付金事業

3億8,231万円

(担当：農業政策課農業政策推進係)

農業・農村が有している国土の保全、資源かん養、景観の形成などの多面的機能の維持・発揮を図るため、日頃、地域の皆さんが行っている農地などの保安全管理のための共同活動に対して支援します。多面的機能支払交付金は、下記の2つの交付金から構成されています。

(1) 農地維持支払交付金

○地域資源の基礎的な保全活動

水路・農道の草刈り、泥上げなどの基礎的な保全活動

(2) 資源向上支払交付金

○地域の質的向上を図る共同活動

水路・農道などの軽微な補修や植栽による景観形成、生き物調査などの農村環境の保全活動

財源 国・県の負担額
2億8,673万円
市の負担額
9,558万円

野生鳥獣対策事業 2,032万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

野生鳥獣による農林水産業などの被害や人的被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の計画的な捕獲を行います。

また、被害防止のため、電気柵などの防護設備を設置された方に対し購入費用の助成枠を拡大します。

さらに、鳥獣被害対策実施隊員を確保するため、ベストや防寒着などの貸与や、狩猟免許及び銃所持許可を取得した方に対する取得費用の助成を行います。

財源 県の負担額 50万円
市の負担額 1,982万円



被害防止のために設置した電気柵

6次産業推進事業 668万円

(担当：農業政策課

6次産業・ブランド推進係)

農林漁業者の6次産業化を支援するため、研修会などの開催や、商品開発・施設整備・広告宣伝費用の2分の1を助成します。

- ・商品開発など：上限100万円
- ・施設整備など：上限500万円
- ・広告宣伝など：上限100万円

大学等との連携による地域農業戦略事業

11万円



(担当：農業政策課

6次産業・ブランド推進係)

東北大学大学院農学研究科・新みやぎ農業協同組合・栗原市の3者で連携し、地域農業に係る講演会や栗原産仙台牛のブランド化を目指し、市場で高評価を得ている肉質の成分分析及び飼養マニュアルなどの作成などを共同で研究します。

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

小規模事業者経営改善資金融資 (マル経融資) 利子補給補助事業 70万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

小規模事業者の経営の安定などのため、小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)を受けた小規模事業者に対し、1年目と2年目の利子額の一部を補助します。

【制度概要】

利子補給補助率 0.36% (マル経融資に係る約定利率1.21%から0.85%を減じた率)

移住・就業対策支援事業 600万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

東京23区の在住者または通勤者が市内に移住し、県が指定する企業などに就職または起業したときに、移住支援金を交付します。

【制度概要】

移住支援金 世帯 限度額100万円
単身 限度額60万円

財源 県の負担額 450万円
市の負担額 150万円

企業立地投資奨励金 企業立地促進奨励金

12億2,173万円

1億2,701万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

【企業立地投資奨励金】

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて、それぞれ投資額の5%から20%までの範囲内で助成します。

【企業立地促進奨励金】

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模に応じて、固定資産税相当額の3分の2以上を3年間助成します。



(株東北イノアック築館工場)

ビジネスチャレンジサポート事業

1,625万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内において、新たに小売店、飲食店などを開業する方の初期投資の軽減を図ることを目的として、開業費用の一部に対し、助成します。

【制度概要】

- ・改修、設備費補助(1回限り)
補助率2分の1、限度額50万円
- ・賃借料補助(12か月間)
補助率2分の1、限度額1月あたり4万円
- ・セミナー等参加経費補助(1回限り)
補助率3分の2、限度額20万円



補助金を活用して開業したカフェ(栗駒地区)

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

観光地域づくり推進事業 道の駅推進事業

601万円

50万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

【観光地域づくり推進事業】

観光の方向性を明確にし、交流人口の拡大と観光振興のための指針となる「観光振興ビジョン」の策定に取り組みます。

【道の駅推進事業】

市の地域活性化の核として、地域経済に貢献できる道の駅整備を目指すため、前年度から実施している「栗原市道の駅基本構想」業務と併せ、引き続き検討を行います。

くりはら田園鉄道公園運営事業

2,521万円

(担当：企画課企画政策係)

旧くりはら田園鉄道の資産や沿線ジオラマなどを展示する「くりでんミュージアム」、KD95などの気動車やレールバイクを活用した乗車会のほか、ゴールデンウィークや夏休み期間中などに開催する特別イベントを通じて、くりでんの魅力を市内外に広く発信します。



くりでん創業祭「ボンネットバス乗車会」の様子

財源	来場者の負担額等	507万円
	市の負担額	2,014万円

栗駒山麓ジオパーク推進事業

5,119万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)



日本ジオパーク再認定

栗駒山麓ジオパークビジターセンターを活動の拠点施設とし、ジオパーク学習やジオパーク講座、ジオツアーの体験などを通じて栗駒山麓ジオパークの魅力を地域内外へ発信し、ジオパーク活動を推進します。

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

台湾との国際交流事業

945万円

(担当：市民協働課地域振興係)

台湾南投市との国際交流事業は、平成28年3月に締結した「国際友好交流協定」に基づき、相互交流を行いながら両市の友好的な関係を築いてきました。

今年度は、両市のより強い結びつきを図るため姉妹都市提携を行います。

また、南投市小学校野球訪問団と政府代表団が来訪し、スポーツ交流と姉妹都市提携式を行うほか、産業交流として、栗原市代表団が南投市産業まつりで栗原の特産品などを紹介します。



薬師まつりに参加した南投市訪問団

インバウンド等推進事業

400万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議（湯沢市、栗原市、一関市、東成瀬村）において、二次交通周遊観光ルート設定など、インバウンド受入環境整備事業を実施します。

財源	国の負担額	320万円
	市の負担額	80万円



インバウンド周遊観光の様子

東京オリンピック事前キャンプ誘致等推進事業

1,627万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

東京2020オリンピック、ホッケー競技に出場する、南アフリカ男子チームの事前キャンプを誘致します。また、関連する事業として、スポーツ少年団や中学・高校ホッケー部を対象としたホッケー教室を開催します。



全日本男子チームによるホッケー教室の様子